※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合「明日の生活を築く」　（開隆堂出版）						
副教材等	LIFE おとなガイド　（教育図書出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生では、家族・家庭生活、被服生活、住生活について学んでいきます。
・教科書、副教材を使った教室での授業では、まず先生の話をよく聞き、メモを取りましょう。授業中に話し合いや意見を発表する機会があります。自分自身が体験することで、知識を身につけられるよう、積極的に取り組みましょう。
・被服実習では、授業に出席するのが大前提です。安全に十分気をつけて、時間内に作品を完成できるよう、手順を守って丁寧に作成することを心掛けましょう。

２　学習の到達目標

（１）人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識・技能を総合的に身に付けるようにする。
（２）生涯を見通して生活の充実向上を図るための課題を見いだしその解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けるようにする。
（３）様々な人々と協働し、充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識・技能を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	人の一生と家族・家庭	①人の一生と青年期 ②青年期を生きる ③将来を見通しこれからを生きる ④自分が拓く人生 ⑤個人・家族と地域・社会 ⑥家族と法律 ⑦持続可能な家庭生活	a:生活に関わる法律の基本的な趣旨、家庭生活を支える社会制度や社会福祉の基本的な理念を理解している。自分の人生をどのように送るか、将来を想像しながらまとめることができる。 b: これからの家族・家庭のあり方について考え、まとめたり、発表したりしている。ワーク・ライフ・バランスの視点から、職業労働のあり方について考え、まとめたり、発表したりしている。 c: 家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。青年期の課題を自分の問題として捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表 自己評価 相互評価	授業観察 ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	子どもの生活と保育	①子どもの世界 ②育つ子ども ③子どもとかかわる ④子どもの育ちを支える	a: 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解している。 子どもの生活の概要を理解している。子どもは生活のなかで関わることを通して成長することを理解している。生命の尊さを認識するとともに、愛着の形成や社会的規範を身につけさせる上で、保育における親の役割を理解している。子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。子どもの権利と福祉について理解している。親の役割や子どもにとって望ましいい保育環境について、自分の考えをまとめることができる。子どもの生活や遊びについて子育てに活かせるよう、体験や学習の内容をまとめることができる。 b: 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、表現している。親の役割や子どもを生み育てることの意義について考え、表現している。少子化、育児不安、児童虐待、子どもの貧困など、現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考え、表現している。 c: 保育における親と社会の果たす役割、子どもの権利と福祉などについて関心を持ち、学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表 自己評価 相互評価	授業観察 ワークシート 実習記録 レポート

※令和４年度以降入学生用

2	高齢者との関わりと福祉	①さまざまな高齢期 ②高齢者の尊厳と自立 ③高齢者の生活と福祉 ④高齢者の生活を支える	a: 高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支えたりできる技術を身に付けている。 b: 高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 高齢者の生活について関心を持ち、体験的な活動を通して意欲的に学習に取組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表 自己評価 相互評価	授業観察 ワークシート 実習記録 レポート
	衣生活の科学と文化	①人間と被服 ②被服の科学と管理 ③被服の選択と安全 ④衣生活の文化 ⑤被服をつくる ⑥持続可能な衣生活 ☆被服実習	a: 着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などについて理解し、安全と環境に配慮した衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b: 着装、被服の選択、被服管理などに関わる様々な課題について考え、まとめることができる。被服管理や被服製作についての技術が身に付いている。 c: 被服の機能，文化，着装，被服管理について関心をもち，実生活で活用しようとする意欲を持って学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 発表 自己評価 相互評価	授業観察 ワークシート 実習記録 レポート
3	住生活の科学と文化	①人間と住まい ②健康で快適、安全な住まい ③持続可能な住生活	a: 住居の機能、住空間計画、住環境などについて科学的に理解し、安全と環境に配慮した住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。住生活の計画に必要な情報を収集・整理することができる。 b: 自分のライフスタイルや価値観に合う住居の選択について、主体的に考え、工夫している。生活の質を高める住居計画を考え、工夫している。 c: 住居の機能や文化などに関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 発表 自己評価 相互評価	授業観察 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度